

ベトナム・フエの伝統木造建築の実測と図面化

このテーマのキーワード	文化支援、人材育成、CSR活動
関連するSDGs開発目標	  

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

2003年よりベトナムのフエ地域にて木造建築の調査を続けています。フエはその昔ベトナム最期の王朝である阮朝の都が置かれた古都でありました。都城の周域には「登り梁ケオ式建築」と呼ばれるこの地方独自の伝統木造建築が数多く残されていますが、今日、高度経済成長期の最中にあるベトナムにおいて、その多くがRC造への建て替えや消滅の危機を迎えています。

(概 要)

林研究室ではその独自の建築文化を後世に伝えるべく、遺構を実測し図面化を続けています。本学と現地大学との学生協働調査とすることで、二国間学生相互の国際文化交流の促進も企図し、現在30棟を超える木造建築の図面化を完了し、その一部は現地にて図面集として出版するなどの活動を続けています。

(期待される効果)

木造建築は石造建築と異なり、放置すれば瞬く間に朽ち果ててしまう建築です。実測して図面化し、技法を吟味して記録し、次世代に資料を残すことが重要な意義を持つと考えています。



写真1 フエの伝統木造建築の例
(楊穹亭, フエ, 1808 年)



写真2 放置され崩壊しつつある遺構の例
(Đình Trung Thu'ong, フエ, 年代不詳)

想定される適用分野・用途・業界

- 失われつつある建築文化を記録し後世に継承する文化支援活動として
- 学術的な調査活動を伴う二国間学生の国際文化交流を促進する若年者のグローバル人材育成支援として

産業界へのアピールポイント

- ベトナムにおける文化支援活動、学生間の国際文化交流を通じた人材育成活動として、また実測調査と図面化という具体的な成果が見えやすい活動です。CSR活動の一環として御支援いただければ幸いです。

建設学科 林 英昭 准教授

このテーマに関するお問合せ ものづくり研究情報センター
E-mail : mric@iot.ac.jp TEL : 048-564-3880